

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業 見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度（10月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
コミュニティセンター等管理委託	市民対話課	現状維持	今後の施設整備計画、管理のあり方について、地元自治会等と協議を進める。	【一部達成】 公共施設等管理計画に基づき、福浦地区コミュニティセンターの計画的な改修を推進するとともに、原校区多目的施設については地元の全面管理への移行も含めて協議を行っていく。	【一部達成】 公共施設等管理計画に基づき、福浦地区コミュニティセンターの計画的な改修を推進するとともに、原校区多目的施設については地元の全面管理への移行も含めて協議を行っていく。	一部達成	福浦地区コミュニティセンターについては、公共施設等管理計画に基づき、計画的な改修を推進する。 原校区多目的施設については地元自治会への移譲について了解が得られない状況である。
文化とみどり財団補助金	市民対話課	改善	花苗は、あらかじめ希望を聞き、必要な施設等に配布する方向で検討する。 不用木の伐採等、新たな緑化管理の実施についても検討する。	【一部達成】 地域における不用木、支障木の伐採等の実施について、公園施設管理協会の取り組みを推進している。	【一部達成】 地域における不用木、支障木の伐採等の実施について、公園施設管理協会の取り組みを推進している。	一部達成	花苗の配布については、必要量を把握したうえで調達している。 新たな緑化管理の実施については、業務量の増加は困難な状況である。
(商業振興事務) 地場産業育成事業	商工課	現状維持	赤穂緞通が新しい地場産業として発展し地域のビジネスとなるよう、引き続き後継者の確保や育成による組織の基盤強化と運営及び緞通の普及・啓発活動を支援していく。	【一部達成】 加里屋工房を後継者育成の活動拠点として、運営を開始した。 引き続き、地場産業としての確立に向けた支援を行う。	【一部達成】 加里屋工房を後継者育成の活動拠点として、運営を開始した。 引き続き、地場産業としての確立に向けた支援を行う。	達成済	加里屋工房を後継者育成の活動拠点として、運営の支援を行った。 引き続き、地場産業としての確立に向けた支援を行った。

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業 見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度（10月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
商業活性化対策事業	商工課	現状維持	商業団体と現行制度の課題について検討・協議を行うとともに、引き続き連携して、空き店舗のデータベース化や制度周知に取り組み、空き店舗の解消、商店街のにぎわい等、活性化を図っていく。	【一部達成】 空き店舗等の情報や支援制度について、市ホームページを通じて周知し、空き店舗の解消や商店街のにぎわいづくり、地域の活性化を図っていく。	【一部達成】 空き店舗等の情報や支援制度について、市ホームページを通じて周知し、空き店舗の解消や商店街のにぎわいづくり、地域の活性化を図っていく。	一部達成	空き店舗等の情報や支援制度について、市ホームページを通じて周知し、空き店舗の解消や商店街のにぎわいづくり、地域の活性化を図っていく。
赤穂ブランド推進事業	農林水産課	現状維持	赤穂市総合戦略目標年度である平成31年度に赤穂ブランドを構築するため、生産者及び観光・商工業関係者と協議を行う。	【検討中】 県や西播磨圏域でも認証制度等が乱立し、十分な効果を生んでいるとは言い難い状況であり、赤穂独自の認証制度の構築は、時期尚早である。 当面は、赤穂を代表するブランドとなる可能性をもつ産品や加工品を育成すべく、生産者の支援に取り組み、生産者にとって有意義な制度を構築するため、調査研究を継続する。	【検討中】 赤穂を代表するブランドとなる産品や加工品を育成するために、生産者との意見交換会を実施したが、赤穂独自の認証制度の構築は時期尚早となった。 今後については、更に生産者やその他団体等と意見交換や協議を重ね、有効的な制度を構築するための調査研究を行う。	一部達成	生産者等との意見交換をふまえ、ブランド力向上の取り組みとともに、地理的表示（GI）保護制度や地域団体商標の登録等によるブランド価値を保護する取り組みを支援する方針。 令和2年度に赤穂市漁協による牡蠣の地域団体商標の登録申請を支援する。
（土地改良事業補助）団体営土地改良事業補助	農林水産課	現状維持	農業者の高齢化や後継者不足など農業者数（組合員数）が減少し農業環境が厳しさを増す中ではあるが、今後も自主運営に向け更なる指導を行いながら、広大な受益面積に係る農業用施設の適正な維持管理に努める。	【一部達成】 赤穂土地改良区の広大な受益面積に係る農業用施設の適正かつ効果的な維持管理に努めながら、自主運営に向け、継続的に指導を行いたい。	【一部達成】 赤穂土地改良区の広大な受益面積に係る農業用施設の適正かつ効果的な維持管理に努めた。 今後についても、自主運営に向け、継続的に指導を行う。	一部達成	赤穂土地改良区の組合員の高齢化や後継者不足が進行しており、受益地にある多くの農業用施設の維持管理に支障が生じている。 今後も継続的な支援が必要であるが、農業者自身が能動的に運営に携われるよう指導・助言を行う。

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業 見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度（10月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
津波・高潮危機管理対策事業	農林水産課	現状維持	施設の長寿命化修繕計画に基づき、施設の重要度や優先度、緊急度等を考慮し、計画的・効果的な事業実施に努める。	【一部達成】 平成28年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、平成30年度に補修設計、平成31年度に補修工事を行う予定であり、計画的に事業を進めている。	【一部達成】 平成30年度に補修設計が完了した。今年度に補修工事を予定しており、計画的な事業進捗に努める。	達成済	平成28年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、平成30年度に坂越漁港の修繕工事が完了した。今後は、長寿命化修繕計画（機能保全計画）策定から5年が経過したことから同計画の見直しを行い、施設の適正な維持管理計画を行う。
議会情報化推進事業	議会事務局総務課	現状維持	市民への情報発信の推進について、インターネット中継に関し、現状はパソコン環境での配信であり、今後広く普及しているスマートフォン、タブレット環境への対応や、議会のホームページあるいは、市議会日より（議会報）の広報の充実を検討するなど、議会（議会活性化）において協議していく。	【検討中】 昨年度、議会（議会活性化）において協議し、他の検討項目との優先順位、予算関係等合わせて検討した結果、今後も引き続き協議していくものとしたものである。 今年度も議会（議会活性化）の中で検討していく予定である。	【検討中】 議会（議会活性化）において協議し、他の検討項目との優先順位、予算関係等合わせて検討した結果、今後も引き続き協議していくものとしたものである。 今年度も議会活性化に関する課題事項を精査し、引き続き検討（研究）していく予定である。	達成済	市議会本会議の映像を、ライブ配信と録画により、インターネット配信しているが、議会（議会活性化）により令和2年4月以降分については、スマホ・タブレット等でも閲覧可能とするなど、広報の充実化を図った。今後も開かれた議会として情報発信に努めていく。
コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	拡充	平成29年度のコミュニティ・スクール実施校3校から平成30年度には7校実施に拡充を行う。	【一部達成】 コミュニティ・スクール実施校が小学校5校と中学校2校の計7校となった。31年度には更に拡充を行う。	【一部達成】 今年度は実施校が11校となり、地域とともにある学校づくりが更に推進された。次年度は残る4校にも設置し、コミュニティ・スクール化を完了する計画である。	達成済	令和2年4月から、市内全小中学校において、コミュニティ・スクールを実施している。

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業 見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度（10月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
児童生徒交流会推進事業	学校教育課	現状維持	平成29年度より一般市民を取り込んだ交流大会は、取りやめた。 平成30年度から市内中学生の交流を行い、それを受け、各中学校区で小学校と中学校の交流会を設ける。 より深い小中学校連携を行いたい。	【一部達成】 子どもの主体性を生かした中学校生徒会のネットワークの構築を進める。各校での取り組みを更に充実させることで学校の良いものを光らせ広めるように取り組む。小学校とのよりよい連携を計画的に進めていきたい。	【一部達成】 本事業は、中学校生徒会のネットワーク化を図り、各校における自主的な取組を共有し、良いものを光らせ広める機会を提供してきた。今後は、近隣校同士の生徒会を中心とした交流によって、その密度を高めることで、学校間の交流へと進化させたい。	達成済	新型コロナウイルス感染症対策のため、交流行事は中断しているが、特にいじめやメディアリテラシー等、生徒自身も主体的に考えていく機会を育む機会を醸成するため、生徒会の交流は、今後も継続していく。
学習支援教員配置事業	学校教育課	現状維持	引き続き、児童数の推移を注視し、児童一人一人の学びを支える学習活動になるよう教員を配置する。	【一部達成】 県による加配措置を優先しながら、複式学級を解消すべく教員の配置を行っているが、県費職員と同一労働でありながら同一程度の賃金が保障されていないことが課題となっている。	【一部達成】 県による複式解消のための加配措置を補う教員を配置するだけでなく、本来の「学習を支援する教員」としての弾力的な配置ができるよう、会計年度任用職員としての採用が可能となるよう努める。	一部達成	令和3年度以降、市内に複式学級ができるため、その解消に向けて、県の事業も活用しながら、学習支援員の配置を進めていく。
学校施設安全対策事業	教育委員会総務課	現状維持	消防用設備点検や遊具等点検、特殊建築物定期調査等で指摘された老朽個所のうち、営繕や修繕工事に対応できない個所について継続的に整備する必要がある。 安全面を最優先に考え、計画的な整備を進める。	【一部達成】 学校施設の現地ヒアリングを行うなど、施設の危険度・緊急度は常に把握に努めている。消防用設備点検などの指摘事項は、危険の予見や、法令不適合のため早急に是正に向け整備を進めていきたい。 長寿命化に係る個別施設計画策定の中で指針を定めていく。	【一部達成】 学校施設の現地ヒアリングを行うなど、施設の危険度・緊急度は常に把握に努めている。消防用設備点検などの指摘事項は、危険の予見や、法令不適合のため早急に是正に向け整備を進める。 今年度中に、学校施設の長寿命化に係る個別施設計画策定の中で指針を定める。	達成済	令和元年度に、学校施設の長寿命化に係る個別施設計画を策定し、その計画の中で、改修等の優先順位付けと実施計画に計上することを明記し、計画的な改修実施の方針を定めた。 今後、各校の要望と危険度を適切に判断し学校施設の安全対策を行う。

事務事業名称	担当部署	内部評価 (最終評価)	事務事業 見直しプラン	平成30年度	令和元年度	令和2年度（10月）	
				見直しプランの達成状況	見直しプランの達成状況	・達成済 ・一部達成 ・検討中	見直しプランの達成状況
(消防施設整備事業)耐震性防火水槽整備事業	消防本部 総務課	現状維持	多様な消防水利を確保するため、引き続き計画的に整備する。	【一部達成】 平成30年3月に40m ³ の耐震性防火水槽1基を加里屋地内(若水公園)に整備した。 引き続き大規模地震等の発生に備え、多様な消防水利の確保に努めていく。	【一部達成】 平成31年2月に40m ³ の耐震性防火水槽1基を上仮屋(鶴の丸公園)に整備した。 引き続き大規模地震等の発生に備え、多様な消防水利の確保に努めていく。	達成済	令和2年6月に100m ³ の耐震性防火水槽を尾崎地区(尾崎第3公園)内に設置し、本年度御崎地区(元塩公園)内に設置する計画である。これにより100m ³ 耐震性防火水槽については、計画に基づく設置を終了し、今後は財政措置等を考慮しながら、消防水利の確保に努める。